

114
A 4312

第三百廿四号



二月八日ヘラルド

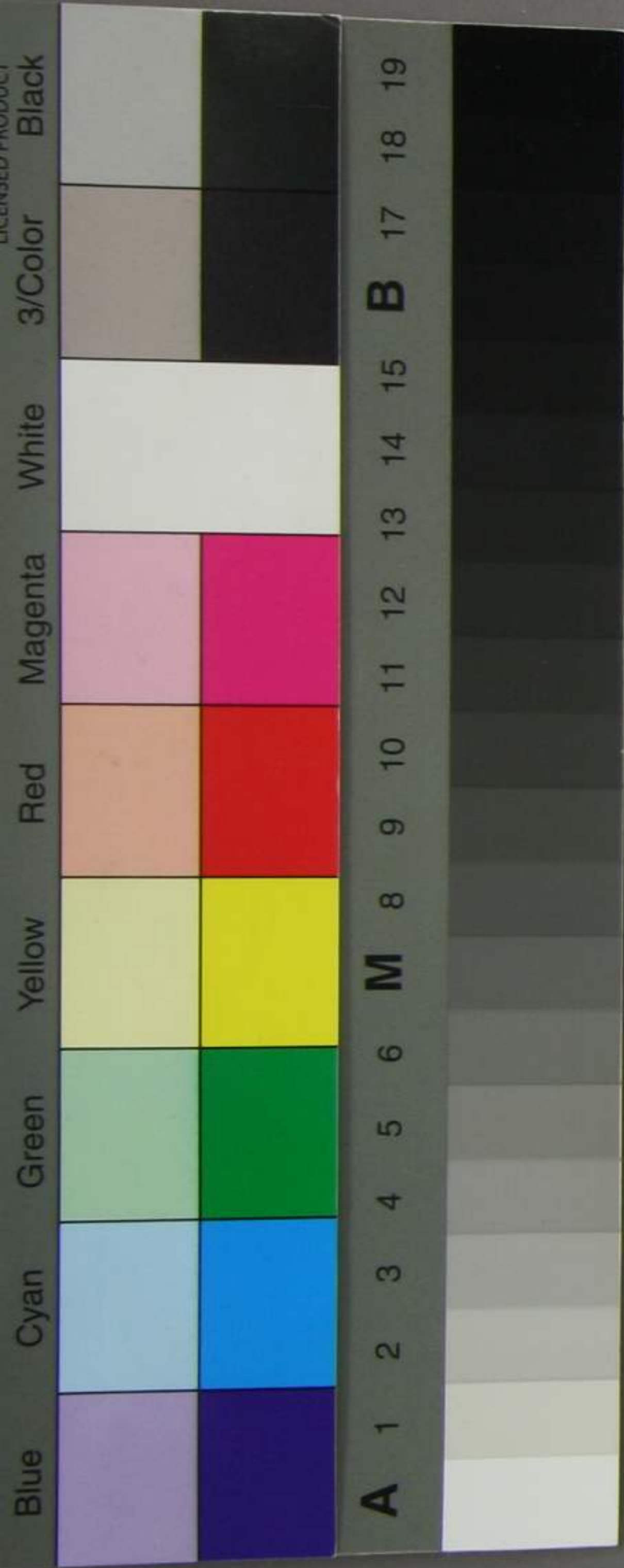
板橋對向運動運動ノ次第ハ之ヲ畧シ只其詳ノミヲ試ス

余等佛國士官教導ノ行届キタルヲ賞賛セサル
ヲ得ス然レ日本兵隊ノ練閲ヲ見ル毎トニ其訓
練誘掖ノ効ヲ見サルナシ歩兵ノ運動ハ整齐
捷速ニメ其距離隊制等モ能ク整ノヒ又其小銃
大抵口込ミノインフィールド鏡ナリシニ比シテ
ハ其放發極クテ快速ニメ其中各伍點放及小隊
點放ハ殊ニ觀ルヘシ歩砲兵(十地四凸)ノ騎砲

大正十一年四月
大隈侯爵
贈

一廿

4010



兵ヲ用フルヲ得スモ亦賞嘆スヘク其大砲能ク
其用ヲ為シ且ツ之ヲリンベルニ駕シテ其陣地
ヲ轉シ再々之ヲリンベルヨリ下ス等極メテ捷
快活奈ナリ唯少シク議スヘキ所アリシハ騎兵
ニ前文之ヲ飾リ騎兵ノ進撃ト書シタルニ其
實頭上ニ覆フ所ノ劔ヲ除テハ復々壯武ノ状ナ
シ特ニ獵者ヲ模スル人紙ノ如キノミ然レトモ
騎兵ノ事ニ於テハ余等痛ク之ヲ談ルヲ得ス日
本全國騎兵ヲ用フルニハ極メテ不便ニシテ
堤防坑穿渠濠ノ類到處ニ縱橫散布スルヲ以テ

騎兵ハ其隊制ヲ保ツコトヲ得ス故ニ山縣氏後次
ノ著運動ニ於テ之ヲ後拒ニ備ヘタルハ得タリ
ト習フヘシ又護傷隊其ストレツチル傷兵ヲ昇
等ヲ携ヘテ傷兵ニ備ヘ且兩軍ノ陣後各外科医
師ノ備ヘアリ然レニ一事日本人ノ未タ進歩
セサル所アリテ其軍服旧製ノ者ハ甚タ良好ナ
ク新製ノ服ハ大イニ完羨ヲ缺ク所アリテ元
來兵士ノ頭冒ハ悉ク仏制ノシビナリテ今回
レシメント中ニハ往々磨キ皮ヲ以テ造レル
ニマコノ如キ者ヲ被ムル者アリ其形甚タ醜ニ

ノ恰カモフルニスヲ引キタル花瓶ノ倒サフニ
戴カ如シ然レ尺概シテ之ヲ論スレハ此日ノ挙
動ハ皆賞譽スルニ堪ヘ兵士等善ク其業ヲ為シ
其佩ラル所ノ器其煩フル重キニ苦シムノ様子
アリタレ尺列伍ニ後レテ隊ヲ離ル、者極メテ
少ナシ下畧

大島正七位 詳